

# 京都大学教職課程 履修カルテ（単位修得状況）

## 農 学 部 （平成 12 年度以降入学者）

所属：	入学年度：				
学生番号：	氏名：				
大学院生・科目等は出身学部：	大学	学部	学科	年入学	年卒業
取得希望免許： <input type="checkbox"/> 中学校教諭一種・理科 <input type="checkbox"/> 高等学校教諭一種・理科 / 農業 / 水産					

- 教員免許を取得するには、所属学部の教務掛において「単位修得状況調 A 票」と免許取得希望教科に対応する「単位修得状況調 B 票」を入手し、修得年度と単位小計を書きこみつつ、必要な単位がそろうように履修すること（科目名変更が行われた場合は、「備考」欄に書き込むこと）。
- 免許申請に際し、所属学部の教務掛に「学力に関する証明書」の発行を依頼する場合、または「教育職員免許状授与一括申請願」を提出する場合は、「履修カルテ（単位修得状況）」（「単位修得状況調 A 票・B 票」を含む）を添付して申し込むこと。

**【確認事項】 ※達成できた項目の□を■に変えること。該当しない項目は取り消し線で消すこと。**

1. 下記の単位を修得したか（別表第 1 備考 4 号確認）。

- 「日本国憲法」2 単位以上
  - 「体育（運動科学、体力医科学、24 年度以降修得の健康科学、運動医科学、27 年度以降修得の運動科学 I、運動科学 II、健康科学 I、健康科学 II、健康心理学 I、健康心理学 II）」2 単位以上
  - 「体育（スポーツ実習 IA・IB・IIA・IIB）」1 単位以上
  - 「外国語コミュニケーション」2 単位以上（科目によっては、1 科目 1 単位の場合があるので、注意すること）
  - 「情報機器の操作」<sup>(注1)</sup> 2 単位以上（科目によっては、1 科目 1 単位の場合があるので、注意すること）
- (注 1) 「情報機器の操作」に該当する具体的な科目名については、掲示で確認すること。

2. 教育実習・介護等体験について、下記の条件を満たしているか。

- （中学校教諭一種免許取得希望の場合）「介護等体験（特別支援学校・2 日間）」を終了した。
  - （中学校教諭一種免許取得希望の場合）「介護等体験（社会福祉施設等・5 日間）」を終了した。
  - 教育実習 I・II の履修に際し、教育実習オリエンテーションに参加した<sup>(注2)</sup>。
  - 教育実習 I・II の履修に際し、教科別の事前指導・事後指導に参加した<sup>(注2)</sup>。
- (注 2) 2 年度に分けて教育実習に行く場合は、2 年度とも参加すること。

3. 「教職に関する科目」について、下記の条件を満たしているか。

- 当該教科教育法については I・II とも修得した（地理歴史科・公民科・商業科・工業科・農業科・水産科を除く）。
  - ☆印の付された必修科目を漏れなく修得した<sup>(注3)</sup>。
- (注 3) 平成 12-21 年度入学者については「教職総合演習」、平成 22 年度以降入学者については「教職実践演習」（平成 25 年度以降開講）が必修科目となる。ただし、平成 12-21 年度入学者のうち、平成 24 年度までに「教職総合演習」の単位を修得しなかった者については、「教職実践演習」の単位を「教職総合演習」に代えることができる。
- （中学校教諭一種免許取得希望の場合）「道德教育論」と「教育実習 I」を修得した。
  - 選択必修科目を漏れなく修得した。
  - （中学校教諭一種免許取得希望の場合）「教職に関する科目」37 単位以上を修得した<sup>(注4)</sup>。
  - （高等学校教諭一種免許取得希望の場合）「教職に関する科目」33 単位以上（地理歴史科・公民科・商業科・工業科・農業科・水産科・情報科の場合は 29 単位以上）を修得した<sup>(注4)</sup>。
- (注 4) 教科教育法については、当該教科の免許取得に際してのみカウントされる（他教科の免許取得に際してはカウントされない）ので、注意すること。

4. 「教科に関する科目」について、下記の条件を満たしているか。

- ☆印の付された必修科目を漏れなく修得した。
- 選択必修科目を漏れなく修得した。
- 「教科に関する科目」20 単位以上を修得した。

5. 修得単位数の合計について、下記の条件を満たしているか。

- 「教職に関する科目」と「教科に関する科目」を合わせて 59 単位以上修得した<sup>(注5)</sup>。
- (注 5) 教科教育法については、当該教科の免許取得に際してのみカウントされる（他教科の免許取得に際してはカウントされない）ので、注意すること。

# 京都大学教職課程 単位修得状況調 A 票 (農学部 資源生物科学科)

注1：※の箇所記入して下さい。

注2：申請年度後期履修中の科目は年度に ( )

※ 入 学 年 学籍種別 (○印)	※ ふりがな 氏 名	※ 免許状の種類	※ 教 科 (○印)	
学部・修士・博士・ 科目等履修生  年入学		高一種	農 業 / 水 産	
※ 別表第1備考4号確認 (修得済みに○印)	1. 「日本国憲法」2単位以上 2. 「体育」3単位以上修得	3. 「外国語コミュニケーション」2単位以上修得 4. 「情報機器の操作」2単位以上修得		
免許法施行規則に定める科目区分等		※	※	
区 分	各科目に含める必要事項	単位 小計	授業科目名 (☆印は必修)	
教 職 に 関 す る 科 目	・教職の意義等に関する科目 ・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等		☆教職教育論 2 教職教育 2	
	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		比較教育学概論Ⅰ／ 比較教育学 2 教育学概論Ⅰ 2 教育人間学概論Ⅰ 2
				教育心理学Ⅰ 2 教育心理学Ⅱ 2 教育心理学Ⅲ 2 発達教育論Ⅰ 2 発達教育論Ⅱ 2
				比較教育学概論Ⅱ／ 比較教育制度論 2 教育社会学概論Ⅰ 2 教育行政学概論Ⅰ 2 教育行政学概論Ⅱ 2 教育学概論Ⅱ 2 民族と教育 2 同和・人権教育論 2
	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法		教育課程論Ⅰ 2 教育課程論Ⅱ 2
				☆農業科教育法 4 ☆水産科教育法 4 資源生物科学概論Ⅲ (2) 海洋生物資源利用学 (2)
		・特別活動の指導法		☆特別活動の理論と実践 2 特別活動論Ⅰ (教育社会学概論Ⅱ) 2 特別活動論Ⅱ (教育人間学概論Ⅱ) 2
				☆教育方法論 2 授業心理学Ⅰ 2 授業心理学Ⅱ 2
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法		☆生徒指導論 2 ☆教育相談 2 ☆生徒指導の精神と 具体的方策 2
				☆教職総合演習／ ☆教職実践演習 2
				☆教育実習Ⅱ 3
	総合演習／ 教職実践演習 教育実習	・総合演習(平成12-21年度入学者)／ ・教職実践演習(平成22年度以降入学者) ・教育実習		
	計		単位	

事前・事後指導1単位を含む。

# 京都大学教職課程 単位修得状況調 B 票 (農学部 資源生物科学科)

注1：※の箇所に記入して下さい。

注2：申請年度後期履修中の科目は年度に ( )

※ 入学年 学籍種別 (○印)	※ ふりがな 氏 名	免許状の種類	教 科			
学部・修士・博士・ 科目等履修生  年入学		高一種	水 産			
教 科 に 関 す る 科 目	免許法施行規則の科目名	※単位小計	授業科目名 (☆印は必須)	単位数	※修得年度	備 考
	水産の関係科目		☆資源生物科学概論 B	2		
			海洋生物生態学	2		
			海洋生物生理学	2		
			海洋微生物学Ⅱ	2		
			海洋環境微生物学	2		
			海洋生物環境学Ⅰ	2		
			海洋生物環境学Ⅱ	2		
			海洋動物学	2		
			海洋生物機能学	2		
			海洋生物科学技術論と実習Ⅰ	2		
			海洋生物科学技術論と実習Ⅱ	2		
			海洋生物資源学演習	2		
			海洋微生物学演習	2		
			海洋生物生産学演習	2		
職業指導		☆職業指導	4			
計 単 位						
教 科 又 は 教 職 に 関 す る 科 目			道徳教育論	2		
計 単 位						